

インフルエンザって?

監修：北里大学 北里生命科学研究所
所長 中山 哲夫



インフルエンザってどんな病気？

インフルエンザは「かぜ」と違います

インフルエンザはインフルエンザウイルスが感染して起こる病気で冬から春にかけて流行します。一般的にいわれている「かぜ」は、その他のウイルスによって起こる病気です。

インフルエンザは「かぜ」より“重い”

インフルエンザの特徴として、突然38℃以上の高熱や強いせき、鼻水などの症状が出て、からだがだるくなります。



またかぜは2～3日で軽快するのに比べ、インフルエンザは治るまで1週間くらいかかります。

インフルエンザでは合併症が怖い

インフルエンザで怖いのは、肺炎などの合併症です。小児ではごくまれにインフルエンザ脳症が起こり、後遺症が残ったり死亡例が出ることもあります。

接種の前に注意すること!

3

- 接種前日は、入浴やシャワーをし、体を清潔にしましょう。



- 接種当日は、お子様の体調が良いかよく観察しましょう。



- 接種直前にも体温を測定しますが、接種当日の起床時に体温を測りましょう。

- 記入した予診票と母子手帳を持参しましょう。

- 何か気になることやわからないことがある場合は、接種前に医師へ相談しましょう。



接種の後に注意すること!

4

- 接種後30分間は、急な副反応が起こる場合がありますので、病院にいるなどして医師とすぐ連絡がとれるようにしておきましょう。

- 接種後24時間以内に、発熱、頭痛、けいれんがあらわれることがあります。また、接種部位が赤くはれたり、痛んだりすることもあります。接種後は体調に注意し、変化が見られた場合は、医師の診察を受けましょう。



- 接種当日は、入浴は差し支えありませんが、注射した部位をこすらないようにしましょう。

- 接種当日は、いつも通りの生活をして構いませんが、激しい運動は避けましょう。



- 他の予防接種を受ける場合は、6日以上間隔をあけてください。

ワクチンで しっかり予防しましょう

ワクチン接種で、重い合併症や死亡を予防することが期待されます。高齢の方、心臓、肺、腎臓などの病気の方には、特に接種をお勧めします。

インフルエンザウイルスは毎年変化していきます。毎年、流行の始まる12月までにはワクチンを受けるようにしましょう。



インフルエンザワクチンの 用法・用量

3歳未満は0.25mLを2回

3歳以上13歳未満は0.5mLを2回

13歳以上は0.5mLを1回又は2回

詳しくは、医師にご相談ください。

⑥

2回目の接種予定日は

□ 月 □ 日～ □ 月 □ 日です

※原則として13歳未満の方は2回接種します。
詳しくは医師にご相談ください。

施設名

ジャパンワクチン株式会社



Daiichi-Sankyo

第一三共株式会社

VAC1P00203-MQ
作成年月2012年10月